

## 2 運行再開に要する費用等について

## 資料 2

台風15号により被災した箇所や老朽化した箇所を下記のとおり調査した。

調査日	調査箇所	参加者
4月17日	川根温泉笹間渡～地名（土木4箇所、軌道2箇所） 地名～塩郷（土木1箇所、軌道1箇所） 下泉～田野口（土木13箇所、軌道7箇所）	中部運輸局 島田市、川根本町 中部電力(株) 静岡県
5月11日	川根温泉笹間渡～地名（土木3箇所、軌道1箇所） 地名～塩郷（土木1箇所、軌道1箇所） 田野口～駿河徳山（土木2箇所、軌道2箇所） 崎平～千頭（土木1箇所、軌道1箇所）	静岡県
6月19 ～20日	川根温泉笹間渡～千頭 （土木26箇所、軌道13箇所） ※土木施設と軌道を分けて調査	(独)鉄道・運輸機構 (公財)鉄道総合技術研究所 中部運輸局 静岡県
7月12日	トンネル4箇所 （笹間トンネル、悉太トンネル、田野口トンネル、 澤間トンネル）	(公財)鉄道総合技術研究所 中部運輸局 静岡県

## 2 運行再開に要する費用等について

(独)鉄道・運輸機構や(公財)鉄道総合技術研究所から、下記の助言をいただいた。

- ・ 被災の種類は、斜面表層からの土砂流入と道床碎石・路盤流出、沢からの土砂流入の3つ。
- ・ 斜面表層からの土砂流入については、法面保護や流入土砂を堆積させるポケットの設置などが有効。
- ・ 道床碎石・路盤流出については、土留めや排水工の設置が有効。
- ・ 沢からの土砂流入については、擁壁や暗渠工(ボックスカルバート)の設置が有効。
- ・ 軌道については、被災未被災問わず、道床が劣化しており、道床交換が必要。
- ・ 悉太、田野口、澤間トンネルは、早急に補強すべき状態。
- ・ 調査したトンネルについては、剥離部分の全撤去と経過観測が必要。

## 2 運行再開に要する費用等について

(独)鉄道・運輸機構や(公財)鉄道総合技術研究所の意見を踏まえて、運行再開に必要な費用等について、大井川鐵道が以下のとおり算定した。

算定にあたっては、運行再開に必要な災害復旧と機能回復、運行開始後でも工事可能な防災改良に分けており、運行再開に必要な費用は全体で約22億円となった。

### (1) 災害復旧

台風15号により被災した箇所への復旧 …… **4.8億円**

### (2) 機能回復

安全運行上必要な、経年劣化したトンネルや軌道の整備 …… **17.3億円**

### (3) 防災改良

再度の被災可能性を軽減し、安全運行を継続する上で必要な施設整備 …… **5.4億円**

※1：令和5年6月及び7月の調査に基づく結果のため、実際の施工時には変更の可能性有

※2：□は運行再開に必要な費用、このうち既存制度による国及び地方の補助を除いた大井川鐵道の負担額は8.4億円以上（国：約6.8億円、地方：約6.8億円）《要綱に基づく県の試算》

※3：防災改良は、災害復旧や機能回復と同時施工を想定して算定。施工時期・施工ロット等により増加する可能性有